

平成19年度

組織・人員配置等  
事業概要

三重県科学技術振興センター

水産研究部

## 事務分掌表

水産研究部  
現在員 46名

部長 中島博司

企 画 調 整 課	10名
-----------	-----

副参事兼課長	尾西一夫
主幹	岩城久仁雄
主幹	岡野清和
主幹	山田浩且
主幹兼機関長	岡本楠清
主幹兼船長	松尾剛平

- 1 職員の身分取り扱いに関する事
- 2 予算、庶務経理及び決算に関する事
- 3 財産の管理に関する事
- 4 調査研究に係る企画連絡調整に関する事
- 5 調査船の運営及び維持管理に関する事
- 6 ISOの認証に関する事
- 7 その他のグループに所管しない事

水 産 資 源 育 成 研 究 課	6名
-------------------	----

総括研究員兼課長	林 政博
主幹研究員	松田浩一
主任研究員	青木秀夫
主任研究員	田中真二

- 1 種苗生産技術の開発に係る調査研究に関する事
- 2 育種技術の開発に係る調査研究に関する事
- 3 魚類防疫対策に係る調査研究並びに指導に関する事
- 4 資源管理型漁業（定着性資源）に係る調査研究に関する事

資 源 開 発 管 理 研 究 課	4名
-------------------	----

主幹研究員兼課長	藤田弘一
主任研究員	久野正博
主任研究員	沖 大樹

- 1 漁海況予報技術の開発に関する事
- 2 資源管理型漁業（TAC対象種）に係る調査研究に関する事
- 3 資源管理型漁業（沿岸資源、TAE対象種）に係る調査研究に関する事
- 4 資源管理型漁業（国際魚類資源）に係る調査研究に関する事
- 5 資源増大技術開発に係る調査研究に関する事

水 圏 環 境 研 究 課	4名
---------------	----

総括研究員兼研究企画監兼課長	西村昭史
主任研究員	藤原正嗣

- 1 環境・生態系保全調査研究に関する事
- 2 内湾漁場環境の調査研究に関する事
- 3 有害赤潮（ヘテロカプサ等）の調査研究に関する事
- 4 有毒プランクトン（貝毒）の調査研究に関する事
- 5 内湾性藻場造成技術開発研究に関する事

地域結集型共同研究課	7名
------------	----

総括研究員兼P研究推進監兼課長 山形陽一  
主任研究員 土橋靖史  
主任研究員 清水康弘  
主任研究員 増田 健

- 1 浚渫土を利用した干潟・浅場の造成技術に関する事
- 2 英虞湾におけるアマモ場造成技術に関する事
- 3 アコヤガイの生理と特性に係る調査研究に関する事
- 4 内湾底泥の環境動態に係る調査研究に関する事
- 5 環境モニタリング技術開発に関する事
- 6 底質改善技術の開発に関する事
- 7 真珠養殖負荷削減技術の開発に関する事

鈴鹿水産研究室	6名
---------	----

主幹研究員兼室長 神谷直明  
主任研究員 水野知巳  
主任研究員 坂口研一  
主任研究員 中西尚文

- 1 貝類の増殖に係る調査研究に関する事
- 2 黒ノリ養殖に係る調査研究に関する事
- 3 資源管理型漁業（沿岸資源、T A E対象種）に係る調査研究に関する事
- 4 浅海域の生態系保全調査研究に関する事
- 5 河川生態系の保全に係る調査研究に関する事

尾鷲水産研究室	7名
---------	----

主幹研究員兼室長 津本欣吾

- 1 海産魚類養殖技術の実用化に係る試験研究に関する事
- 2 魚類の防疫対策に係る調査研究に関する事
- 3 マハタ等新魚種の種苗量産化技術開発研究に関する事
- 4 魚類養殖場の環境保全に係る調査研究に関する事

副参事 黒川芳樹（産業支援センター 派遣）

## 予 算 総 括

事 業 名 称	担 当	期 間
水産研究部予算		
施策513 科学技術交流の推進		
基本事業 51304 科学技術基盤の整備		
水産研究部管理費		
施策 227 農林水産業を支える技術開発の推進		
基本事業 22704 水産業を支える技術開発の推進		
(1) 産地間競争力を高める技術開発		
希少な真珠の生産技術の開発に関する研究【重点事業】(新規)	水産資源育成研究課	H19～22
耐病性アコヤ貝等の生産に係る産学官連携研究費(新規)	水産資源育成研究課	H19～22
黒のり優良品種および育苗不良網再生技術開発に関する研究【舞台づくりP】(新規)	鈴鹿水産研究室	H19～22
室内培養実験による赤ぐされ病耐性評価手法の開発	鈴鹿水産研究室	H19～22
マハタ・クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業【重点事業】(新規)	尾鷲水産研究室	H19～22
(2) 持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発		
イセエビ種苗大量生産技術開発費	水産資源育成研究課	H17～19
イセエビ幼生の好適餌料の開発	水産資源育成研究課	H17～20
アワビ類資源増大技術開発調査事業	水産資源育成研究課	H18～20
トラフグ資源増大技術開発事業費	資源開発管理研究課	H17～19
(再掲)日本周辺海域ブリの回遊と海洋環境の関係解明に基づく来遊量予測手法開発	資源開発管理研究課	H18～20
資源評価調査事業費	資源開発管理研究課	H12～
資源管理に必要な情報の提供事業費	資源開発管理研究課	H15～
日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費	資源開発管理研究課	H13～
関東・東海海域における沿岸海況の短期予報研究	資源開発管理研究課	H17～19
魚類養殖試験	尾鷲水産研究室	H18～20
(再掲)高級魚「アラ」の安定養殖生産のためのVNNワクチンの開発	尾鷲水産研究室	H18～20
(再掲)バクテリオファージを用いた魚類細菌感染症の防除技術の開発	尾鷲水産研究室	H18～20
貧酸素被害低減技術開発のための基礎調査【舞台づくりP】(新規)	鈴鹿水産研究室	H19～22
負荷低減型真珠養殖管理技術の開発【舞台づくりP】(新規)	地域結集型共同研究課	H19～22
(3) 環境保全に向けた技術開発		
(再掲)沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発【舞台づくりP】(新規)	地域結集型共同研究課	H19～22
(再掲)英虞湾における既設干潟・藻場の長期変化の把握【舞台づくりP】(新規)	地域結集型共同研究課	H19～22
(再掲)陸域起源物質が海域の一次生産等に及ぼす影響の把握【舞台づくりP】(新規)	地域結集型共同研究課	H19～22
(再掲)底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発【舞台づくりP】(新規)	地域結集型共同研究課	H19～22
(再掲)自然の自己修復機能を利用した赤潮防除研究【舞台づくりP】(新規)	水圏環境研究課	H19～22
(再掲)閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費【舞台づくりP】	地域結集型共同研究課	H19～22
ヘテロカプサ赤潮の消長予測技術開発費	水圏環境研究課	H16～19
英虞湾漁場環境基礎調査費	水圏環境研究課	H15～19
淡水魚の多様性保全に関する研究費	鈴鹿水産研究室	H15～19
(4) 循環型社会実現への貢献のための技術開発		
(再掲)未利用海藻活用共同研究事業費	鈴鹿水産研究室 尾鷲水産研究室 地域結集型共同研究課	H17～19

参考: 執行委任事業

事業名称	担当	期間
<b>農水商工部水産室予算</b> (1) 貝毒成分モニタリング事業 (2) 「みえのうみ」環境保全活動促進事業 (3) アサリ資源管理型漁業推進事業【舞台づくりP】(新規) (4) 底曳き網漁業資源回復計画普及推進事業費 (5) イカナゴ資源回復計画作成推進事業費 (6) 海産稚アユ分布調査 (7) 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業	水圏環境研究課 鈴鹿水産研究室 鈴鹿水産研究室 資源開発管理研究課 鈴鹿水産研究室 鈴鹿水産研究室 水産資源育成研究課 尾鷲水産研究室	H7～ H19 H19～22 H18～19 H15～19 H18～20 H19～21
<b>農水商工部水産基盤室予算</b> (1) 干潟生産力改善対策モデル事業費	水圏環境研究課 鈴鹿水産研究室	H18～19
<b>科学技術振興センター予算</b> (1) 研究施設機器整備費 施設整備費 機器整備費		

# 事 業 概 要

事業名	事業概要																														
<p>水産研究部予算 1. 水産研究部管理費</p>	<p>水産研究部の維持管理費，調査船の維持管理費等。（県単、一部諸収入） 【調査船】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目 船名</th> <th style="width: 15%;">船質</th> <th style="width: 15%;">トン数</th> <th style="width: 15%;">馬力数</th> <th style="width: 15%;">進水年月</th> <th style="width: 20%;">用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あさま</td> <td>軽合金</td> <td>79.0</td> <td>D 400</td> <td>H14. 3</td> <td>調査研究</td> </tr> <tr> <td>小大勢</td> <td>F. R. P</td> <td>1.1</td> <td>D 42</td> <td>H 4. 8</td> <td>あさま通船 雑作業</td> </tr> <tr> <td>まつかぜ</td> <td>”</td> <td>1.3</td> <td>外 30</td> <td>H11. 3</td> <td>養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td>灘 風</td> <td>”</td> <td>1.5</td> <td>D 35</td> <td>H14. 3</td> <td>湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途	あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究	小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	あさま通船 雑作業	まつかぜ	”	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測	灘 風	”	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業
項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途																										
あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究																										
小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	あさま通船 雑作業																										
まつかぜ	”	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測																										
灘 風	”	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業																										
<p>2. 試験研究費 (1)産地間競争力を高める技術開発</p> <p>希少な真珠の生産技術の開発に関する研究【重点事業】（新規）</p> <p>耐病性アコヤ貝等の生産に係る産学官連携研究費（新規）</p> <p>黒のり優良品種および育苗不良網再生技術開発に関する研究【舞台づくりP】（新規）</p> <p>室内培養実験による赤ぐされ病耐性評価手法の開発</p> <p>マハタ・クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業【重点事業】（新規）</p> <p>(2)持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発</p> <p>イセエビ種苗大量生産技術開発費</p> <p>イセエビ幼生の好適餌料の開発</p> <p>アワビ類資源増大技術開発調査事業</p> <p>トラフグ資源増大技術開発事業費</p> <p>（再掲）日本周辺海域ブリの回遊と海洋環境の関係解明に基づく来遊量予測手法開発</p>	<p>低迷する真珠養殖産業の活性化のため、希少で高品質な真珠を生産するアコヤガイの作出技術および適切な養殖条件を明らかにするための技術開発を行う。【県単】</p> <p>アコヤガイの栄養状態を反映する「閉殻力」を用い、真珠の生産性向上につながるアコヤガイの育種技術及び母貝仕立て技術を開発すると共に、ポータブルタイプの閉殻力測定装置の試作品を作成する。【県単】</p> <p>特許出願した手法等を用いて、黒のりの採苗技術の改良と細胞レベルの選抜により、高水温耐性に優れた品種の開発を行うと共に、各漁場の特性に応じた優良品種の開発を行う。さらに、育苗期間の芽落ち被害を軽減するため、新しい採苗技術を応用して、芽落ちしたノリ網を再生する技術を開発する。【県単】</p> <p>黒のり養殖で問題となっている赤ぐされ病に対する耐病性に優れた品種を開発するため、品種間における耐病性の差異を検出、評価する手法を確立する。【水研センター委託】</p> <p>マハタ、クエを東紀州の特産品として位置づけ、地域ブランドとしての定着を促進するため、育種等により優良種苗を安定して生産する技術を確認するとともに、養殖魚の品質向上等を目的とした養殖技術のさらなる高度化を図る。【県単】</p> <p>本県沿岸漁業の重要種であるイセエビの増殖技術の推進に向け、イセエビ幼生を安定して大量に飼育する技術の開発を行う。【県単】</p> <p>イセエビ種苗生産における主要な生物餌料である、アルテミアの養成方法を検討するとともにイセエビ幼生への効率的な給餌条件を明らかにする。【水研センター委託】</p> <p>アワビ類資源の増大のため、アワビ稚貝の生育環境など、放流の効果に影響を及ぼす諸要因を調査検討し、より実効性のある放流手法を開発する。【県単】</p> <p>高い放流効果が期待できる伊勢湾海域において、放流サイズのさらなる小型化を図り、経済効果を向上させようとする手法を確立する。熊野灘海域においては、添加効率の向上技術開発を行う。【県単】</p> <p>三重県沿岸に来遊するブリの回遊と海洋環境との関係を明らかにし、来遊量予測手法を開発する。【水研センター委託】</p>																														

# 事 業 概 要

事業名	事業概要
資源評価調査事業費	漁獲統計資料の解析，生物測定調査や調査船調査の結果に基づき，イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・ヒラメ・スルメイカ・トラフグ・マアナゴ・シャコ等の資源量の評価を行い，漁獲可能量（漁獲割当量）を算出するための基礎資料を収集する。【水研センター委託】
資源管理に必要な情報の提供事業費	本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査して，その情報を関係機関に迅速に広報し，資源管理の推進を図る。【交付金】
日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について，国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため，国を中心とした全国組織のもとに，本県では県立水産高校と連携して，漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。【水研センター委託】
関東・東海海域における沿岸海況の短期予報研究	衛星リモートセンシング水温同化技術の開発と海況情報ネットワークシステムの構築，黒潮及び周辺海域の変動特性の解明並びに沿岸海況予報システムの開発により，高精度な海況図の作成，沿岸・沖合海況変動機構の解明，急潮予報システムの開発を行う。【静岡県再委託】
魚類養殖試験	魚類養殖業の活性化を図るため，新しい養殖対象魚種として注目されるクエの海面養殖技術の開発と，マダイ養殖のコスト削減を目的として，餌料試験など養殖経営体質強化のための養殖技術開発を行う。【県単】
（再掲）高級魚「アラ」の安定養殖生産のためのVNNワクチンの開発	「アラ」（マハタ）養殖の障害となっているVNN（ウイルス性神経壊死症）のワクチン開発と実用化に向けた調査研究を実施する。【水研センター委託】
（再掲）バクテリオファージを用いた魚類細菌感染症の防除技術の開発	マダイのエドワジエラ症を対象とした，バクテリオファージ療法に関する調査研究を実施する。【広島大学委託】
貧酸素被害低減技術開発のための基礎調査【舞台づくりP】（新規）	伊勢湾有数の貝類漁場である木曾三川河口域を例に，貧酸素水塊の波及機構とそれに対応する二枚貝類の生理的变化，生残状況を調査し，被害軽減策を検討する。【県単】
負荷低減型真珠養殖管理技術の開発【舞台づくりP】（新規）	真珠養殖漁業者が，漁場において適正な養殖管理を行い，生産性の向上を図るよう，環境と養殖管理技術の関係を体系化すると共に，それらを養殖管理マニュアルとしてとりまとめ提供する。【県単】
<b>(3)環境保全に向けた技術開発</b>	
（再掲）沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発【舞台づくりP】（新規）	沿岸遊休地（潮止め堤防内湿地）の海水交換による生態系の変化を詳細に把握し，得られた知見をもとに干潟・藻場の再生技術を開発する。また，細胞培養によるアマモ場造成用種苗の量産技術開発にも取り組む。【県単】
（再掲）英虞湾における既設干潟・藻場の長期変化の把握【舞台づくりP】（新規）	地域結集型共同研究事業で英虞湾内に造成した人工干潟・藻場を長期的に追跡し，地形の変化や生態系の安定性を評価し，実効性のある造成手法を開発する。【県単】
（再掲）陸域起源物質が海域の一次生産等に及ぼす影響の把握【舞台づくりP】（新規）	地域結集型共同研究事業の成果を活用し，森林，農耕地等の陸域から流出する物質の動態把握，さらにはそれらが沿岸域の低次生産に及ぼす影響を評価し，閉鎖性海域の環境再生に向けた流域管理手法を提案する。【県単】
（再掲）底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発【舞台づくりP】（新規）	流域の土地利用形態及びそれらの歴史的変遷と海底堆積物の特性との関係を解析することにより，底泥の堆積メカニズムを解明するとともに，堆積抑制手法を提案する。【県単】
（再掲）自然の自己修復機能を利用した赤潮防除研究【舞台づくりP】（新規）	アコヤガイなど二枚貝を特異的にへい死させるヘテロカプサ赤潮の防除対策として，最近発見されたヘテロカプサのみ殺藻し，他の生物には害のないウイルスによる赤潮発生防止技術を開発する。【県単】

## 事 業 概 要

事業名	事業概要
<p>(再掲)閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費【舞台づくりP】</p>	<p>英虞湾の環境改善と新技術の創造を目的とした科学技術振興事業団の地域結集型共同研究事業「閉鎖性海域における環境創生プロジェクト事業」に参画し、英虞湾の自然浄化機能の向上と底質改善ならびに水質予報システムの構築に係る研究に産学官共同で取り組む。【県単】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 浚渫土を利用した干潟・浅場の設計造成技術の開発</li> <li>(2) 細胞培養を利用したアマモ種苗量産と藻場造成技術の開発</li> <li>(3) 底質改良技術の開発</li> <li>(4) シミュレーションモデル開発のための海域環境調査(流動観測, 栄養塩等調査)</li> <li>(5) 生態系モデルでの底質における物質循環モデルの開発</li> <li>(6) 養殖適正量評価のためのアコヤガイ成長モデルの開発</li> <li>(7) その他委託事業</li> </ul>
<p>ヘテロカプサ赤潮の消長予測技術開発費</p>	<p>真珠養殖業に多大な被害を与えるヘテロカプサについて、プランクトンの増殖活性を指標とした短期的な赤潮消長予測の可能性を検討する。【水産庁委託】</p>
<p>英虞湾漁場環境基礎調査費</p>	<p>英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を捉える。【県単・一部諸収入】</p>
<p>淡水魚の多様性保全に関する研究費</p>	<p>県内主要河川における淡水魚類の分布の現状把握、ブラックバスの駆除方法の検討、海産稚アユの種苗化技術の開発を行うとともに、河川工事が淡水魚の生息に与える影響を評価し、多様な淡水魚類相の保全方法を検討する。【県単】</p>
<p>(4)循環型社会実現への貢献のための技術開発</p> <p>(再掲)未利用海藻活用共同研究事業費</p>	<p>アナアオサ、アマモ、スサビノリ等の未利用海藻の有効利用を促進するため、これら海藻の前処理(収穫、乾燥等)技術、単細胞化技術、餌料化技術等の開発を行うとともに、海藻抽出成分投与によるマハタに対するウイルス感染症予防効果を試験する。【県単】</p>



## 事 業 概 要

事業名	事業概要
<b>農水商工部水産室予算</b> (1) 貝毒成分モニタリング事業  (2) 「みえのうみ」環境保全活動促進事業  (3) アサリ資源管理型漁業推進事業【舞台づくりP】(新規)  (4) 底曳き網漁業資源回復計画普及推進事業費  (5) イカナゴ資源回復計画作成推進事業費  (6) 海産稚アユ分布調査  (7) 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業	二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし、出荷自主規制等の措置を講ずることで、貝毒被害を防止する。  木曾三川河口干潟を対象に、漁業者が自主的に環境・生態系保全活動の一環として取り組む現場調査の技術的支援を行う。  伊勢湾において、漁業者によるアサリの自主的な資源管理型漁業を導入するため、アサリの資源動態を把握すると共に、資源管理の実践に必用な知見の収集および管理手法の開発を行う。  近年減少しつつある底曳き網漁業対象資源のシャコについて、小シャコから漁獲加入サイズまでの減耗要因を明らかにし、効果的な資源回復手法を検討する。  伊勢湾のイカナゴ資源について、より高位で安定的な漁獲水準を維持できるよう、資源回復計画を推進するために必用な科学的情報を収集する。  海産稚アユを放流用種苗として有効活用するため、本県地先海域において海産稚アユの分布・出現状況を調査する。  養殖技術講習会の開催、養殖現場の巡回指導、魚病診断等を行い、飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正使用について指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。
<b>農水商工部水産基盤室予算</b> (1) 干潟生産力改善対策モデル事業費	本県沿岸干潟におけるアサリ資源の増大を図るため、のり網等の構造物を用いたアサリ初期稚貝の着底推進効果を検証すると共に、アサリの資源動態の把握および減耗原因の解明を行う。また、農業で利用されているシーダーテープを活用して、アマモ場造成における播種の効率化および省力化を図り、住民参加型のアマモ場造成手法を開発する。
<b>科学技術振興センター予算</b> (1) 研究施設機器整備費 施設整備費 機器整備費	施設の整備, 工事 備品の更新, 整備